

広報 にいかっぷ

2011 2012

12・1

No 552

新冠町ホームページ
<http://www.nikappu.jp>
Eメール
info@nikappu.jp



にいかっぷ子のお遊戯会

写真上段 認定こども園ド・レ・ミ

写真中段 美宇保育所

写真下段 朝日保育所

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、心新たに輝かしい平成24年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、目ごころより町行政に対するあたたかいご支援とご協力に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年のわが国を振り返りますと、3月11日に東北地方を襲った東日本大震災は、私たちの想像を絶する大きな被害を与え、改めて自然の力の恐ろしさを町民の皆様も心に刻まれたことと思います。

被災地においては、復旧、復興に向けた取り組みに加え、福島第一原発の放射能汚染問題は、いまだに先の見通しが立たない状態にあり、被災地住民や関係者の苦勞は計り知れないものがあります。

このような中、7月に行なわれたFIFA女子ワールドカップにおいて、なでしこジャパンの初優勝は、日本中が明るい話題につつまれ、希望と感動を味わうことが出来、今、日本に一番必要な困難に立ち向かう勇気を与えてくれました。

当町においては、開町130年・町制施行50年という大きな節目を迎え、4月には管内初となる「認定こども園ド・レ・ミ」の開園。5月には1年を通してこの節目の年を祝う各種記念事業をスタートさせ、多くの町民の皆さんに参加や協力をいただいております。

おります。

一方まちの産業に目を転じますと、軽種馬の売れ行きは少しずつ回復傾向にはありますが、一頭当りの販売額が落ちており、漁業についても、総漁獲高に占める割合が大きい秋サケにおいては、漁獲高はよかつたものの、漁獲量は不漁だった昨年を大きく下回るなど、先行きに不安が残る状況が続いております。

しかし基幹作物であるピーマンの販売高が6年連続3億円を突破したほか、黒毛和種素牛・肥育牛の販売額が初めて5億円を突破するなど明るい話題もありました。

本年におきましては、長引く円高株価安等景気の先行きが懸念されますが、黒毛和牛の生産・経営の核となる施設「和牛センター」が4月から稼働するほか、「企業誘致事業」として推進しております「日高食肉センター」も、平成25年夏の操業に向け建設工事が着手されるなど、産業振興やまちの活性化と、当町に暮らす全ての人々がキラリと光輝くまちを目指し、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご協力とご理解を賜りたいと思っております。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、新しい年が、みなさんにとりまして、最良の年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

決算の認定

平成22年度の新冠町一般会計と7特別会計の決算は、決算審査特別委員会における審査報告を受け、それぞれ認定されました。

補正予算

●平成23年度一般会計

平成23年度新冠町一般会計は、既定の歳入歳出予算額に6421万6千円を追加し、総額を52億8184万5千円としました。

《歳入補正の主なもの》	
分担金及び負担金	8,849千円
繰越金	39,385千円
町債	8,600千円
《歳出補正の主なもの》	
生活路線バス維持費補助金	6,845千円
食肉センター出資金	5,000千円
乳幼児等医療費	1,104千円
介護サービス特別会計事業勘定繰出金	16,267千円
広域農道整備事業負担金	13,910千円
畜産担い手育成総合整備事業委託料	9,010千円
牧野工事請負費	2,688千円
新冠温泉工事請負費	2,101千円

冠支署からは緊急消防援助隊として3次に渡り3名の隊員が派遣されて救急業務、消防業務に従事しております。被災地からの避難者の受け入れについては2世帯3名の方が新冠町で避難生活を送られました。

公営住宅には一世帯2名を受け入れ、生活に必要な設備については町が支援を行うこととして、公営住宅使用料及び上下水道料を免除しておりますが、被災地もある程度落ちつき、自宅に戻ることが可能となったことから9月21日に退去されています。

北海道に避難している被災者に対する支援として、観光協会が実施している「新冠体験ツアー」とタイアップし「被災者応援ツアー」を実施致しました。夏休み期間中の8月に3回のツアーを行い80名の被災者親子の参加を頂きました。

慣れない土地での不自由な避難生活を忘れ、新冠町での楽しいひと時を過ごして頂くことができたと思っております。

被災地では、現在着実に復興の歩みが続けておりますが、なんと申しましたも復興の足かせになっているのが、震災で発生した大量の瓦礫でございます。一日も早い処理が必要ですが、被災県だけで処理することは不可能な状態にあります。この瓦礫処理にあたっては、全国の

通園バス購入費	
4,396千円	
長期債償還元金	
1,671千円	

町長行政報告

東日本大震災への支援について

3月11日に発生した東日本大震災から9か月を迎えています。復興に向けた歩みは極めて遅く、震災復興のための第3次補正予算及び関連法案がようやく11月30日に可決されたという状況です。

被災地の皆さんは、今まで以上に厳しい冬を迎えて、これからの生活に大きな不安を抱えていることと推察されます。

改めて、今なお不自由な生活を強いられている被災地の皆様に、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げますと共に、これまでの東日本大震災被災地への新冠町の支援の状況について、ご報告を申し上げます。

まず、被災地への義援金ですが、新冠町及び社会福祉協議会では日本赤十字社、共同募金会の義援金受付窓口を設置し、町民の皆さんに広く被災地への支援をお願い致しました。その結果、現在まで日本赤十字社への義援金が、438万2236円、共同募金会への義援金が192万968円、合わせて630万3204円の義援金を被災地に送ることができました。町民の皆様

日高管内をユーザーとした民間の豚食肉加工センターを建設したと考えており、新冠町内の建設候補地の紹介をお願いしたいという依頼がありました。

町はかねてから、西泊津地区町有地検討プロジェクトで町有地の有効活用について検討をしていたことから、同地区を紹介し現地の確認もしていた。いた結果、同年12月25日に関係者が再度来庁し食肉センター建設に関する正式な協力要請が行われました。

町では食肉センターの建設に関する協力依頼を受けて、新冠町内での食肉センター建設の可能性について検証を行うため、建設を計画している食肉センターと同規模である埼玉県熊谷市県北食肉センター、埼玉県越谷市食肉センター、伊藤ハム東京ミートセンターの視察を急遽実施致しました。

視察した食肉センターは比較的民家等の近くに建設されていましたが、動物の搬入口を裏側に配したり、係留場を含め全て施設内で処理される仕組みになっており、周辺への影響が少なくなるよう環境・衛生対策に万全を期している様子を確認することができました。

食肉センターの視察を終えて、環境や衛生面で周辺への十分な配慮がなされ、隣接住民の理解が得られるなら、新冠町の復興に大きな貢献が期待できる食肉センターの建設に協力をすべきと判断し、議会にもその方針を説明しご理解を頂いてきたところでございます。

の温かいご支援に対し心からお礼を申し上げます。

また、北海道町村会でも被災地への支援として、一町村あたり100万円を目途とし、総額1億5千万円を送っております。

被災地への物資の支援では、被災直後に町民からの支援物資が3件ほど寄せられましたので、北海道が取りまとめた支援物資とともに被災地に送り届けております。

また、被災地では冬を迎えるにあたり除雪用品の不足が心配され、除雪用品の支援要請がありましたので、11月及び12月に岩手県の2町に対して融雪剤560袋を提供致しました。

被災地への職員派遣については、被災直後の4月に全国町村会から総務省及び被災県と連携して、被災自治体へ職員の派遣要請があったことから、新冠町も被災地支援に向けて事務職員の派遣の準備を進めておりましたが、全国の自治体から派遣要請を上回る申し出があった結果、新冠町から職員を派遣するには至りませんでした。

更に、6月には被災市町村から新たに中長期の職員派遣の協力要請があったことから、介護認定調査員を9か月間派遣可能と回答しておりましたが、派遣要望の取り下げや、派遣要望人数の充足により、再び派遣には至りませんでした。

しかし、日高中部消防組合消防署新

日高食肉センター実行委員会も、同地区での事業に必要な水の確保の目途が立ち、事業実現の可能性が高まったことから平成22年10月1日、新会社である株式会社 日高食肉センターを設立しております。

同時に食肉センターの安定的な運営に向けて、大手ハムメーカー等の事業参加の可能性を探っていましたが、本年度に入ってから、大手食品メーカーのエス・フーズとその子会社である北海道中央牧場、伊藤ハムなどが資本参加することが決定したことから、日高食肉センター実現に向けて本格的に動き出し始めました。

新冠町に建設を予定している食肉センターは、生体搬入から製品出荷までの衛生管理を徹底して行うハセップシステムを導入する国内最先端施設であり、海外への輸出にも対応できる衛生管理が行われる施設とされています。

しかし、食肉センターの運営については悪臭、騒音、水処理、鳥獣対策など様々な懸念があり、土地を提供する町はもとより、隣接住民にとっても現実の食肉センターがどのように運営されているのか実際に見てみなければ、なかなか不安は解消されません。

そこで、ハセップシステムを導入し新冠町に建設される食肉センターのモデルとなつている金沢食肉流通センターの運営状況を、建設予定地の隣接者と町職員、日高食肉センター関係者

と共に10月に視察を実施致しました。
視察した施設では、全ての処理は施設内で処理されており騒音等の問題もなく、水処理も排出基準以下に浄化してから海に放流されており、悪臭もなく何ら問題点は無いことを改めて確認することができました。

この視察の結果を踏まえて、10月末には日高食肉センターが西泊津地区の隣接者及び周辺住民18名に案内を行い、10名の参加を得て食肉センター建設の説明会が開催されました。

説明会の中では、先に視察した金沢食肉流通センターの操業の様子が映像で紹介された後、日高食肉センターの概要について説明が行われましたが、食肉センター建設についての反対意見等は出されず、地域の皆さんの理解を頂いたものと判断を致しました。

日高食肉センターについては安定的な運営をするための経営主体の問題や施設建設により環境に与える影響、地域住民の理解を得ることの様々な懸念事項についても解消されてきたと考えられますし、日高食肉センターに対する北海道の承認申請についても、近々承認の決定を頂く予定と聞いております。

この様な中、食肉センター建設の環境が整ったと判断し、食肉センター建設に対する新冠町の支援や日高食肉センターの地域貢献、環境保全に対する取り組み等の約束事を取り決める協定書

を、新冠町議会議長立会いのもと12月5日に締結を致しました。

この協定書では、新冠町は企業誘致条例に基づき西泊津町有地を売却するほか、道路整備事業費について助成をするともに、日高食肉センターに500万円を出資し株主となること、一方、食肉センターは地域振興の観点から従業員採用時における町民の優先雇用、従業員の新冠町内への居住、物資等の町内調達等について配慮することとしております。

既に日高食肉センターは新冠町字本町に事務所を構えており、食肉センター建設に向けて動き出していますが、現在の予定では平成24年4月頃に建設工事を着工し、完成・操業開始は平成25年8月頃の計画となっております。

食肉センターでは、1日最大750頭の豚を処理することができ、と畜・解体、枝肉の製品化等を行うことになり、従業員は70〜80名程度を予定しているとのことです。

本事業の実施に当たっては北海道の承認等の不確定要素や周辺環境への懸念事項もあり、これらへの確認に万全を期したことから町民の皆さんには中々、お知らせをすることができませんでしたが、12月定例会の行政報告をもって町民の皆さんにも正式にお知らせをしたいと考えているところです。

平成21年12月に日高食肉センター事業への支援要請を受けて以降、議会に

おける主な有害鳥獣の9月末までの状況について報告いたします。

最初にエゾシカであります。猟銃、罾による駆除頭数は1480頭で昨年度実績1200頭から約23%増となっております。

次にヒゲマですが、ハコ罾による捕獲頭数は、12頭で昨年度実績18頭より34%減でありました。

アライグマは198頭で昨年度実績206頭より4%減、キツネは174頭で昨年度実績111頭から57%増、タヌキは31頭で昨年度実績23頭から35%増、カラスは393羽で昨年度実績661羽より40%減となっております。

特にエゾシカは、平成25年度まで管内統一して駆除に係る報奨金や処理費用の増額と残滓の有効活用を図ることとされ、一部の処理を若園の北海道食美楽に委託するなどして、ハンターの負担軽減等を図ったことが功を奏したと考えております。

今後、積雪期にかけて狩猟と罾による駆除、さらには猟友会による一斉駆除を継続して行い、駆除頭数を増やしたいと考えております。

なお、従事するハンターに対しては有害鳥獣の駆除はもちろん、狩猟においても人命を最優先に、軽種馬などの飼養家畜への安全確保、誤射・暴発などの事故防止を徹底されるよう猟友会等とも連携し、指導してまいります。

2点目は、高齢化などにより年々減

は進捗状況の報告や食肉センターの誘致について様々な相談をさせていただき、数々の貴重なご意見を頂いた結果、協定の締結まで至ることができましたことに、改めてお礼を申し上げます。

新冠町子ども発達支援センターの開設及び高齢者等買い物支援事業の開設について

昨年度から、準備・協議を進めてまいりました子ども発達支援センターの開設と高齢者等買い物支援事業の創設につきましては、本年11月1日から事業開始に至っておりますので、経過及び利用状況等に関しご報告いたします。

まず、子ども発達支援センターについてでございますが、昨年度から事業委託先の、新冠ほくと園に専門職員2名を採用いただき、研修や静内児童養育センターからのケース引き継ぎなどを進めておりましたが、更に本年4月には施設長を含む3名を採用いただいた上で、保護者への説明会や個人面談、施設改修を行うとともに、共同運営する日高町との協議など開設準備を取り進め、本年11月1日「新冠町子ども発達支援センター あおぞら」として、オープンしたところでございます。

現在、新冠町から27名、日高町から11名、計38名の幼児・児童が利用しております。1日平均で6名の利用実績となっております。

少しているハンター育成のため、今年度から実施しております新規狩猟免許取得補助及び新規銃器等購入補助の状況について報告いたします。

本制度は、猟銃、狩猟免許取得に係る各種費用については10割、銃器及び保管庫などの取得に関しては、5割の助成を行うものであります。

新規狩猟免許取得者であります。今年度は、8月に実施された試験で13名の方が新たにワナ猟免許を取得し、10万9635円を助成しております。

内訳ですが、初めて狩猟免許を取得した方が4名、猟銃免許の持っている方でワナ免許を取得した方が9名で、特に今回は自ら農作物被害の減少を図ろうということで、新冠町農協の組合員の方が多くなっております。

次に銃器等購入補助ですが、空気銃と関連する備品を購入された1名の方に20万円助成しております。

この方は購入後、早速、自宅周辺のデントコーン畑などで、これまでにエゾシカ5頭、アライグマ13頭など駆除を行うなど、積極的に駆除を行っていたと考えております。

今後も、これらの補助制度を継続させ、有害鳥獣駆除のハンター育成を図っていききたいと考えております。

平成23年度一次産業の概況について

新冠町農協及びひだか漁協取り扱いの販売実績に基づきご報告申し上げます。

また、保護者の方々からは、改修後の施設環境や指導の様子をモニターで確認できる設備、感覚統合指導や言語聴覚指導などの療育内容に対し、安心と信頼の評価を頂いているとの報告を受けているところでございます。

当子ども発達支援センターは、旧節婦保育所を活用する形で開設いたしました。今後とも地域に根ざしながら、子どもへの効果的な発達支援と保護者の方々への親身な相談支援を通じ、地域の「ふれあいの拠点」となるような運営に心掛けてまいりたいと考えております。

次に、高齢者等を対象とする買い物支援事業についてでございますが、当事業についても、昨年度から地域での高齢化の進展と買い物環境の減少への対応策として、事業主体のあり方や事業形態などについて、議会・産業団体との協議を進めてきたところでございます。

本年度に入りまして、農協・商工会の協議により、両産業団体が連携し、試行期間を設定した中で、主体性をもって本事業を実施したい旨の意向を受けましたので、町は事業費を補助することとして、「うらくらく・いっかつぶ」との事業名で11月1日に事業開始に至ったところでございます。

事業は、市街地を除く地域の高齢者の方々を対象で、注文によりAコープと商工会商業部会会員が商品を調達し配達する内容で、平成25年3月までを

す。

はじめに農産部門ですが、水稲においては収量が前年を下回り、反収では前年比約1.2%の減の319キロでしたが、販売単価が約28.2%増のキロ当たり198.4円となり、販売額も2843万5609円増の1億4080万3171円となったところでございます。

なお、一等米出荷比率においては、穀類集出荷施設の能力が活かされ、今年度も100%で単価の向上に寄与しているところであります。

そ菜関係の総販売額では、前年を若干下回る4億7477万6392円となっております。

当町の基幹作目であるピーマンが販売額で前年比約3.4%減の3億6742万6244円となっております。

軽種馬生産であります。市場の取引販売実績では売却頭数は192頭で前年比27頭の増で、売却率においても7.4%増、売却額では1570万5千円増の7億8136万5千円となりました。

しかし、市場上場に係る検査経費やコンサイナー、種付け料など様々な生産コストが上昇しているにもかかわらず、一頭平均価格では前年を57万円も下回る407万円となっており経営を圧迫している状況となっております。

酪農においては、生産戸数の減少並びに生産者の高齢化により飼養頭数が減少したことから、出荷量が減少し、前

有害鳥獣の駆除状況及び新規狩猟免許取得等の状況について

有害鳥獣の駆除状況であります。エゾシカをはじめとするアライグマやキツネなどの有害鳥獣による農作物や交通事故等の被害を減少させるため、本年度から日高管内有害鳥獣被害対策広域協議会が中心となり、管内連携した駆除を実施しておりますが、本町に

害

年より乳量で1004トン少ない9752トンで、乳代も6379万円少ない7億4180万9千円となっております。

肉用牛においては、主力の黒毛和牛の素牛販売においては、各生産者の繁殖雌牛の増頭が図られたことから、前年対比68頭増の928頭、販売額3億6977万7千円となっております。

肥育牛販売においては、前年対比12頭増の102頭、販売額8295万9千円となっております。

交雑種においては、素牛では前年対比106頭増の639頭、販売額1億4296万円となっておりますが、肥育牛においては、飼養農家が1戸減少し、前年対比54頭減の38頭、販売額は1918万2千円と前年を2279万2千円ほど下回っております。

次に水産部門ですが、本年11月までの魚種別漁獲状況は、コンブ、カレイ、ナマコなどの漁獲高が大幅に減少したものの、主力の秋サケにおいては漁獲量が前年の85%の452.2トンでしたが、漁獲量不足からキロ当たり単価が前年より高水準に推移したことから販売額は17.4%増の2億4588万4千円であります。

さらに、増殖事業を強化しておりますタコやシヤモ、ナマコ、ブリにおいては漁獲量、販売額ともに前年を上回り、総漁獲高では、前年から17.2%上回る3億7148万8千円となっております。

園児たちは、多くの保護者や祖父母、地域の方々が見守る中、町民ホールのステージ一杯に日頃の教育・保育活動の成果を表現しておりました。

また、おゆうぎ会で発表した演目を恵寿荘やあいあい荘の入所者の方々にも見て頂くため、それぞれの施設を訪問し、高齢者との交流を深めております。

2点目は、幼・小・中の連携についてですが、10月23日には、年長組の園児が、新冠小学校の学習発表会を見学し、小学校の雰囲気慣れる取組みを行ったほか、新冠中学校の3年生がド・レ・ミを訪れ、絵本の読み聞かせや折り紙の指導などの保育実習を行い、園児・中学生ともに貴重な体験・交流の場となりました。

このほか、保育士が、新冠小学校の参観日に参加し、保育所卒園児の授業の様子を参観するなど、幼・小・中の連携を深めております。

社会教育の推進について

9月22日、レ・コード館におきまして、開町130年・町制施行50年記念事業「昭和音楽大学オーケストラコンサート」を実施いたしました。

昭和音楽大学の学生・講師、52名によるオーケストラ「運命」の演奏は、大きな感動を呼び、成功裏に終了しております。

また、12月2日、札幌市資料館から総

ります。

断水事故の経過と事故防止の町の対応について

配水管破損による断水事故、2件について報告いたします。これは、いずれも北海道電力株式会社発注の電気供給工事に伴う建柱作業中に発生したものでございます。

工事の元請け業者は、北海電気工事株式会社でその下請け業者の株式会社新興電気が現場での工事を実施しておりました。

9月3日の朝日地区、11月21日の高江地区の断水事故両方とも、同様な工事中に発生したものでございます。両地区の断水時間は、約3時間にわたりました。

朝日地区の断水事故現場において、担当課長より株式会社新興電気の現場責任者に対して、工事実施前に必ず現場担当課に水道管に関する状況を確認するとともに、併せて現場において試験を行い作業するように口答指導をいたしました。

その後、前回の指導にもかかわらず、高江地区において同様の電気供給工事に伴う建柱作業中に配水管を破損し断水を生じさせ町民生活、営農に多大の支障を及ぼしました。

町民のライフラインである水道施設を維持管理し水道を断水することなく安定的に給水することは、水道管理者

建85周年事業としての依頼を受け、出張レコードコンサートを実施いたしました。

次に社会教育委員の活動についてであります。10月19日、日高管内社会教育委員連絡協議会の研修会をレ・コード館において実施いたしました。北海道社会教育委員協議会から出された提言についての研修を深めるとともに、実践発表では当町の青年活動の取組や放課後子ども教室の開設、地域における社会教育活動として当町の各社会教育委員より発表しております。

3点目に青少年の取組についてです。11月8日から4泊5日の日程により、判官館青年の家において「学び・遊ぶ・つうがく合宿」を実施いたしました。

新冠小学校、朝日小学校の4、5年生28名が参加し、早寝早起きの生活習慣を身に付けること、自分のことは自分でしっかりとすることを基本に、様々な体験学習を行いました。

4点目は、社会体育ですが、新冠町体育協会が主体となり、8月28日の北海道マラソンに挑戦から約1か月をスポーツ月間とし、ウォーキングラリーやテニポン大会等を実施するとともに、体育の日記念事業としてソフトボール、ミニバレーなど実施し、延べ約500名の参加がありました。

5点目は、図書プラザ事業による取組ですが、10月27日からの読書週間中には、北海道出身の作家の図書を展示

である新冠町の責務でありますので、今後の事故再発防止を期することが重要であることから、12月8日、関係会社3社の代表及び責任者を招集し、工事実施にあたっては、水道管理者である新冠町と綿密な連携を図ることを厳守すべしとの文書により嚴重注意を申し渡しました。

いずれにいたしましても、電気事業も水道事業も、町民の生活に不可欠なライフラインであることは明確であり、関係の3社においても、事故再発防止に関して社内管理を徹底する旨の回答を得ております。

今後、今回の断水事故を教訓として、関係会社へ強く指導をするとともに、併せて、町民のライフラインである水道を安定的に給水することに努めてまいりますので、ご理解をいただきたいと存じます。

教育長行政報告

学校教育の活動について

1つ目は、全国学力・学習状況調査の実施についてであります。今年度は、東日本大震災の影響により、全国的な調査は実施が見送られ、問題用紙の配布に留まることとなりましたが、道教委では、問題用紙を活用した全道調査を実施することとなり、当町では9月

した「北の作家展」のほか、小学生を対象とした「1日司書体験事業」、「アニメル号の特別巡回及び1日図書館長体験事業」や「リサイクル市」、「ブックコートフィルム体験事業」、「映画鑑賞会」など各種事業を実施したところです。

6点目は、郷土資料館の取組についてであります。

郷土資料館探検・環境クラブでは、9月25日美宇地区において水田学習の収穫体験、11月19日には「昔の農機具にふれよう」と、収穫した稲を使い、実際に農機具を動かす体験学習を実施しております。

ところで、教育委員会では、本年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、これまでの防災対策を見直し、より実践に近い形での避難の在り方を模索しながら、各施設における避難訓練を実施しております。

ド・レ・ミでは、役場庁舎や東町避難路への避難、新冠小学校では、施設の最上部となる体育館ギャラリーや判官館森林公園への避難、新冠中学校では、全生徒が駆け足で役場庁舎への避難など、指導を行っております。

また、レ・コード館においても来館者の協力を頂きながら、館内にいた40名が役場庁舎への避難を想定した実践訓練を行っております。

最後に、9月定例会において報告した教育委員会の平成22年度の活動評価については、10月6日、町のホームペー

に各小中学校において実施いたしました。

調査結果については、現在、道教委において取りまとめ中であり、今月下旬、冬休み前までに報告がなされる予定となっております。

2つ目は、日高教育局の指導主事による学校訪問についてであります。

朝日小学校は10月6日、新冠小学校は10月27日、新冠中学校は11月28日に実施され、全体研修においては、指導技術向上に向けた取組と、各校の研究課題に即した研修等、学校の抱える研修課題解決に向け指導主事を有効に活用したものとなりました。

2点目は、豊かな心身の育成についてであります。

新冠小学校では10月21日に学習発表会が、朝日小学校では10月22日に学芸会が行われました。

また、新冠中学校では、10月5、6日に学校祭が行われ、第2日目では、今年もレ・コード館のステージで吹奏楽部の演奏と合唱コンクールが行われ、平日にも関わらず来場頂いた、多くの保護者や地域の方々から声援を受けた生徒たちの真剣な姿がありました。

新冠町立認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について

11月19日、ド・レ・ミとして初のおゆうぎ会をレ・コード館において開催しました。

ジに公表をいたしました。

評価内容について、内部で協議を進め、改善できるものについてはすみやかに対応しておりますが、評価の低い項目については、課題の解決に向け、教育委員会の活動の活性化を図りながら、来年度の施策にしっかりと位置付けて取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

条例

- 新冠町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 新冠町立地域保育所条例を廃止する条例
- 新冠町和牛センター条例の制定
- 新冠町牧野条例の一部を改正する条例

意見書

- 軽油引取税の免税等に関する意見書
 - 環太平洋経済連携協定に反対する意見書
 - 森林・林業・材木産業施策の積極的な展開に関する意見書
- 以上の意見書案の採択、原案を可決しました。

日高食肉センターと協定

食肉センター建設協定書に調印

12月5日、役場会議室で日高食肉センター（村上純一社長）と食肉センター建設に関する協定書の調印式が行われました。

食肉センターは、豚のと畜、解体処理、保冷等を行なう施設で、西泊津の町有地に建設し、平成25年8月の稼働を目指していきます。

協定書は、従業員の居住先は町内とすることや従業員を募集するときは町民を優先に行なうこと、食肉センターの建設工事、資材、物資及び必要材料は地元を優先することなど、地域振興へ配慮する内容となっております。

また、建設に対し町は、500万円を出資するほか、町道から施設への進入道路整備に要する費用として見込まれる9千万円を上限に助成することなどが明記されています。調印式では、協定書を読み上げて確認した後、村上社長、小竹町長、立会人の芳住議長が協定書に署名押印。最後に固い握手を交わしました。



イルミネーションフェスタ2011



12月4日、レコード館前広場で「イルミネーションフェスタ2011・音と光のイリュージョン」が開催されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、餅まきや1万5千個のLED電球を使用した作られた、長さ24mの光のトンネルの点灯式などが行われました。

高齢者住宅ボランティア清掃



12月6日・7日・8日に、北海道電力静内水力・電力センター職員によるボランティア清掃が行われました。

このボランティア清掃は、独り暮らしの高齢者宅を対象に平成7年から行われており、高齢者の方が普段清掃しにくい、照明器具の清掃や電球の交換を行ってくれました。

おめでとう！ トランセンド号

第12回ジャパンカッププダイト優勝

12月4日、阪神競馬場で行われた第12回ジャパンカッププダイト（GI）で、美宇のノースヒルズマネジメントで生産されたトランセンド号が見事優勝をかざりました。

レースは、一番外枠にいた同馬がスタート直後から先頭にたち、ゴールまで一度も先頭を譲ることのない完璧なものでした。



同馬は、昨年もこのレースで勝利しており、今年もGI2勝目。なお同牧場は、今年GI3勝目となるものでした。

まちの話 題 あれこれ

故庄司久さんに

旭日単光章

平成23年9月に亡くなられた庄司久さんに旭日単光章が贈られ、12月12日、小竹町長より奥様のヒデ子さんに勲記と勲章が伝達されました。

庄司さんは昭和58年に新冠町議会議員に当選以来、連続3期12年の永きにわたり在職し、町の振興発展に多大な貢献をされました。

在職中は、公平かつ冷静な判断と地方自治に対する深い見識により、



多面にわたる地方自治の振興にご尽力されました。これらの功績が認められ今回の叙勲となりました。

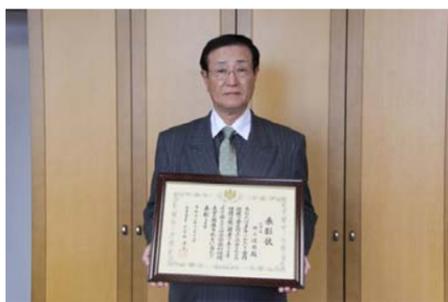
びっくり箱 子育て応援大賞受賞



このたび、読み聞かせの会「びっくり箱」に、北海道知事より「ほっかいどう子育て応援大賞」が贈られました。

びっくり箱は昭和56年に結成以降現在まで、親子連れや子どもに対し、絵本の読み聞かせや人形劇などを実施してきました。その功績が認められ今回の受賞となりました。

井上達也さんに厚生労働大臣表彰



このたび、井上達也さんに厚生労働大臣表彰が贈られました。

井上さんは長年にわたり、新冠町の子どもから高齢者までの歯科保健医療に関わり、歯科保健医療の普及啓発や向上に多大なる貢献をされました。その功績が認められ今回の受賞となりました。

税についての作文 新冠中の3人が受賞



このたび、中学生の「税についての作文」の表彰式が新冠中学校で行なわれ、前原真一浦河税務署長より3名の入選者が表彰されました。

表彰されたのは写真右側から、税務署長賞に武田瞳さん、日高地区納税貯蓄組合連合会長賞に佐藤洸希さん、同連合会優秀賞に水澤克哉さんです。

人権作文コンテスト 丸谷龍平さんが受賞



このたび、「第31回全国中学生人権作文コンテスト日高地区大会」で丸谷龍平さんが札幌地方大会奨励賞を受賞しました。

「いじめ」をテーマに考えた丸谷さんは、「この作文を書くことによって、いじめを止める勇氣を持つことができた」と固い決意で作文を締めくくっていました。

11月26日
ジュニアジャズバンド

レ・コード館でジュニアジャズバンドの定期演奏会が開催されました。

演奏会は今年で5回目。今年新たに入ったメンバーから今年で卒業するメンバーまで総出演し、素晴らしい演奏を披露してくれました。観客の皆さんもメンバーのすばらしい演奏とジャズの楽しさを満喫できた演奏会でした。



12月2日
農業青年発表会

レ・コード館で管内の農業青年が集まり「日高管内農業研究大会」が開催されました。

この研究大会は、日頃の活動を発表するもので、新冠町からは、4Hクラブの赤田孟紀さんが「僕らに出来る地域活動」と題し、消費者や町内の異業種団体との交流について発表を行いました。

12月10日
市民劇団ど・こ〜れ新冠定期公演

今年で14回目となる市民劇団ど・こ〜れ新冠の定期公演。公演は、辛いことがあっても前向きに、希望を持って前へ進めば、必ず良いことが待っているという内容です。出演者の熱演に観客の皆さんも引き込まれ、カーテンコールでは出演者に惜しめない拍手を送っていました。



11月13日
あの学校は今・・・

新冠町女性コミュニティ会議主催の「旧小学校見学ツアー」が行われ23人が参加しました。

今回見学したのは、軽種馬牧場の「ビックレッドファーム」になった明和小学校、児童自立援助施設「新冠こたにがわ学園」になった若園小学校、「ディマシオ美術館」になった太陽小学校、老人ホーム「おうるの郷」になった東川小学校です。参加者は、生れ変わった学校を前になつかしい思いに浸っていました。

11月19日
VOL (ヴォル) 定期公演

レ・コード館で合唱団 Vol が定期コンサートを開催し、自慢の歌声を披露しました。

コンサートは5部構成で行われ、マンガやドラマの主題歌をはじめ、日本民謡メドレーなど誰もが知っている歌から、ソプラノ独唱など幅広い曲構成で行われ、終始観客を楽しませる内容となっていました。



11月20日
ダンスフェスティバル

日高管内のストリートダンスを習う子どもたちが一堂に会し「ダンスフェスティバル」が開催されました。「ダンスフェスティバル」は、「SOUL WAVE (ソウルウェーブ)」が企画して行ったもので、日高管内で活動する3団体が参加しました。子どもたちの軽快なダンスに会場は大いに盛り上がりました。



ほろしりの里より義援金

12月8日、節婦ほろしりの里は、11月6日に行った「ふれあいフェスタ2011」において、園生が作ったパンやケーキを販売した売り上げ金の一部42,555円を、社会福祉協議会を通じて東日本大震災の被災者に寄付しました。



朝日小学校から被災地へ

12月5日、朝日小学校児童会は、東日本大震災で被害を受けた宮城県出島に暮らす被災者に「ねばりいも」を送りました。「ねばりいも」は、児童が廃品回収を行い、廃品回収で得たお金を基に、緑丘の藤田農場で購入したものです。



レコードとワインの夕べ

11月17日、レ・コード館の展望塔で「レコードとワインの夕べ」が開催されました。この企画は、新冠町青年団体協議会が主催して行っているもので、参加者の皆さんは、ワインを飲みながら楽しいひとときを過ごしていました。



高規格救急自動車導入

12月8日、日高中部消防組合消防署新冠支署に新しい救急自動車導入されました。この救急自動車には、自動心臓マッサージ器など最新の装備が搭載されており、以前より高度な救急活動を行なうことが可能となりました。



陶芸サークルの作品を販売

11月9日、レ・コード館で新冠陶芸サークル主催の陶芸即売会が行われました。即売会で売られた作品は、同サークルメンバーが制作したもので、約400点用意された作品は、完売となるほど好評でした。



節婦消防団庁舎完成

このたび、節婦町にある消防団第2分団庁舎の新築工事が終了し、新庁舎が完成しました。同庁舎には消防車1台が配備されており、地域を火事から守る本部として、また地域の防災の拠点として今後活躍していくものです。

お知らせ

Information

公共施設等の 年末年始のお休み

公共施設等の年末年始のお休みとなる期間をお知らせします。

●12月31日～1月5日

役場、国保診療所（一般診療は休診ですが、診療を希望される方は電話連絡 ☎0146・47・2411）の上、ご来院ください、動物の火葬業務、子育て支援センター、社会福祉協議会、デイサービスセンター（1月3日は開所します）

●12月30日～1月5日

レ・コード館、町民センター、スポーツセンター、青年の家、青少年会館、郷土資料館、新冠・節婦老人憩の家、商工会（30日は午後から）

●12月31日～1月3日

ゴミの収集運搬業務

●12月26日～1月7日

ホロシリ乗馬クラブ

●12月30日～1月3日

「道の駅」売店
※トイレは24時間開設しています。

●町道の除雪が必要なとき

役場へご連絡ください。警備員が常駐し、担当者と除雪委託業者へ連絡をとり業務が行えるように

なっています。

●水道修理等が必要なとき

12月31日～1月5日の間に水道の凍結・漏水等がありましたら、次の指定店に連絡してください。

●12月31日～1月1日

㈲坂森設備 ☎0146・47・3584

●1月2日～1月3日

㈲道南 ☎0146・42・3198

●1月4日～1月5日

㈲島山設備 ☎0146・47・3466

●新冠温泉「レ・コードの湯」

通常営業で営業しています。

●健康推進バス

平常運行しますが、各診療機関の休診日をご確認の上、ご利用ください。なお、新冠温泉行きは平常どおりご利用いただけます。

●金融機関等

新冠郵便局

窓口 12月31日～1月3日
※ATMの営業は31日が9時～17時、1月1日～3日は休みとなっています。

苫小牧信用金庫新冠支店

窓口 12月31日～1月3日
ATM 12月31日～1月3日

新冠町農業協同組合

窓口 12月31日～1月3日
ATM 12月31日～1月3日

ひだか漁業協同組合新冠支所

窓口 12月30日～1月5日
ATM 12月30日～1月5日

●ガソリンスタンド

伊藤商会(有)新冠・新和給油所

12月31日午後～1月4日

岩倉商事(株)新冠営業所

12月31日15時～1月1日
(1月2日・3日は8時40分～17時30分まで営業)

中山石油(株)

12月31日14時～1月3日
(1月4日～10日は8時～18時まで営業)

J A にかっぶスタンド

12月31日13時～1月3日
横山石油

12月31日15時～1月2日
(1月3日は9時～17時まで営業)

冬期間の通行止め

次の町道及び林道の7路線は、冬期間の危険防止のため通行止めになっています。しばらくの間、ご不便をおかけしますが、ご協力願います。

▼通行止めの路線

①岩清水新冠ダム線

(泉の大森さん地先から新冠ダムに至る路線)

②大富東泊津線

(大富の宮下さん地先から東泊津の赤坂さん地先に至る路線)

③美宇東川線

(美宇の新田さん地先から東川2に至る路線)

④元神部町有牧野関戸線

(町有牧野管理事務所から東川2に至る路線)

⑤里平新和線 1号支線

(新和の椎名さん地先から里平新和線に至る路線)

⑥大狩部町田金井線

(大狩部の渋谷さん地先から節婦町の川島さん地先に至る路線)

⑦大規模林道平取えりも線

(新菜の上井さん地先から静内町に至る路線)

▼通行止めの期間

降雪時から春先の通行安全を確認した日まで。(石清水新冠ダム線は12月1日より一般車両通行止め)

●お問い合わせ先

建設水道課管理グループ ☎0146・47・2518
産業課水産林務・商工観光・労政グループ ☎0146・47・2183

国立北海道障害者職業 能力開発校入校生募集

求職中の障がい者の入校生（訓練期間1年又は2年間）を募集しています。

▼願書受付期間

平成23年11月24日(木)～
平成24年1月20日(金)

▼入学選考日

平成24年2月6日(月)
8時50分～

▼選考場所

北海道障害者職業能力開発校

▼募集訓練科

総合ビジネス科、建築デザイン科、プログラム設計科、総合実務科、CAD機械科、各若干名募集

●お問い合わせ先

砂川市焼山六十番地
北海道障害者職業能力開発校
訓練第一課 上神田 (かみかんだ)
電話 0125・52・2774
FAX 0125・52・9177

戦後強制抑留者の皆様へ

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金を支給しています。

▼対象者

旧ソ連邦又はモンゴル国の地域における戦後強制抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方です。

▼請求受付期間

平成24年3月31日までです。
まだ、請求されていない方はお急ぎください。

また、請求書をお持ちでない方は、至急問い合わせ願います。

●ご連絡・お問い合わせ先

独立行政法人平和祈念事業特別基金

事業部特別給付金認定担当
0570・059・204 (ナビダイヤル)
(IP電話、PHSからは03・5860・2748)
受付時間 平日9時～18時
(土曜、日曜、祝日はご利用いただけません)

法定調書及び法定調書合計表 の提出はe-Tax等で!

給与所得の源泉徴収票等の法定調書、法定調書合計表のe-Tax・光ディスク等(CD、DVD、MO、FD)による提出は、事務所などに居ながらにして提出でき、作成の際の事務の省力化・効率化が図られるなどのメリットがあります。

なお、法定調書合計表をe-Taxで送信し、法定調書は光ディスク等又は紙により提出することも可能となっております。

●お問い合わせ先

浦河税務署 ☎0146・22・4131

預金保険制度について

預金保険制度とは、金融機関が預金保険料を預金保険機構に支払い、金融機関が破たんした場合に、一定の預金等を保護するための保険制度です。

制度の中では、同制度の対象となる金融機関、対象となる預金等と保護の範囲、同制度で保護されていない預金等の取扱い、金融機関が破綻したときの預金保護の仕組み(保険金支払方法、資金援助方法)などが定められています。

●お問い合わせ先

北海道財務局 ☎011・709・2311
預金保険機構ホームページ
<http://www.dic.go.jp/>

ひだか弁護士 相談センター

●受付時間
午前10時～午後4時
●お問い合わせ先
ひだか弁護士相談センター
☎0146・42・8373

1月	
4日(水)	11日(水)
18日(水)	23日(月)
25日(水)	30日(月)
2月	
1日(水)	6日(月)
8日(水)	15日(水)

ご寄付ありがとうございました <敬称略>

●ふるさと納税
☆井田 昌己 (50,000円)
☆武田 雅雄 (10,000円)
☆匿名 (10,000円)
●特別養護老人ホーム「恵寿荘」に役立ててと
☆高橋 満郎
(大根葉4.5kg、大根121.8kg、ごぼう3kg、白菜5kg、
芋44.8kg、かぶ7.6kg、タオロ段ボール1箱)
☆㈲横山運輸 (新品タオル100本、古布段ボール1箱)
☆上井 武志郎 (芋12.2kg、古布紙袋2袋)
☆高月 カズエ (芋15kg、大根28kg、白菜34kg)
☆北所 直人 (白菜14.5kg、人参13kg)
☆長谷川 照男 (白菜11kg)
☆三宅 妙子 (古布1袋)
☆ボランティアグループちよぼら(カット布10袋)
☆仁井田 清蔵 (古布段ボール1箱)
☆佐藤 保人
(エアーマット3個 スイングアーム介護バー2個)
☆三澤 松栄 (玉葱30kg、むき栗2.7kg)
☆葛野 和夫 (カット布2袋)
☆畑中 与治 (古布1袋)

新冠町社会福祉協議会へ

▼福祉事業に役立ててと
☆芽呂婦人部 (古切手1袋)
☆法野サカエ (古布1袋)
☆匿名 (20,000円)
☆ボランティアグループあゆみ (5,000円)
▼香典返しに代えて
☆横内 則幸 (50,000円)
☆小松 秋子 (100,000円)
☆宮脇 衛 (30,000円)
☆片倉 勝子 (50,000円)
☆高村 義洋 (30,000円)
☆佐藤 保人 (100,000円)

ひだかひまわり基金法律事務所

弁護士 秋元 忠史 (札幌弁護士会所属)

*借金・クレジットの返済 *多重債務 *交通事故 *離婚
*相続・遺言 *家賃滞納・不動産 *悪徳商法 など

借金・交通事故については、初回相談無料です。☎(0146) 43-1206

日高郡新ひだか町静内御幸町3-1-78-2階 (ウェリントンホテル向かい)

遊馬ランドグラスホッパーにいる、牛さんみたいな色のお馬さん「ジョン・レノ君」で、エンテュランス馬術大会に出場してみませんか?

対象: 小学生
連絡先: 0146・49・5511

チーム グラスホッパー
TEAM GRASSHOPPER

フライダルフラワー ★スタンド花 ★アレンジメント

TEL 0146-47-4878
FAX 0146-47-4879
新冠町字東町19-18
アレンジ教室開催中!

< 新年の御挨拶 >

日頃より当法人の運営に際しましては特段の御理解と御協力を賜りましてありがとうございます。本年は皆様方にとりまして幸多き年であります様念じ上げます。
平成二十四年 元旦
社会福祉法人 新冠ほくと園
理事長 前山 佳弘
他 役員一同

恵寿荘からのお願い

恵寿荘では古布が不足しています。ご家庭で不要になった古布がありましたら恵寿荘に寄贈下さいますようお願い申し上げます。寄贈に関する問い合わせ等は恵寿荘までご連絡ください。
恵寿荘 ☎0146・47・2355

後期高齢者医療制度のお知らせ

～ 高額介護合算療養費及び医療費通知について ～

□高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、「病院にかかったとき」と「介護サービスを利用したとき」の1年分の自己負担額の合計が表の基準額（限度額）を超えた場合は、超えた額が「高額介護合算療養費」として支給されます。なお、手続きには役場窓口への申請が必要となります。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円未満の場合は支給されません。

◆自己負担限度額

【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区 分		自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※1）	31万円
		区分Ⅰ（※2）	19万円

- ※1 世帯全員が住民税非課税である方
- ※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または高齢福祉年金を受給している方

申請される方は、新冠町役場保健福祉課保健福祉グループ（医療給付担当）までお申し出ください。

□医療費通知の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、被保険者の皆様に健康や医療に対する理解を深めていただくために、皆様の医療費を半年ごとにまとめ、発行をご希望の方を対象に医療費通知を送付しています。次回の発行は、3月（平成23年7～12月の医療費を対象）に行います。

◆新たに発行をご希望の方はご連絡ください

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または新冠町役場保健福祉課保健福祉グループへご連絡ください（電話でのご連絡だけで手続きできます）。

- ◆すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。
- ◆この通知を受け取られたことにより、申請等の手続きをされる必要はありません。
- ※この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合 〒060-0062 札幌市中央区南2条西14丁目 国保会館6階 ☎011・290・5601	新冠町役場 保健福祉課 保健福祉グループ ☎0146・47・2113（直通）
--	--

新規学校卒業予定者を対象とする 求人申し込みについて

ハローワークでは、平成24年3月新規高等学校卒業予定者に係る求人の受付を6月20日から開始してありますが、申込数が少なく生徒には厳しい状況となっております。

新卒者の採用に慎重さを要する経済情勢ですが、就職を希望する新卒者が1人でも多く地元での就職ができますよう、早期の採用計画と求人申し込みをお願いいたします。

就職希望者	求人数
151人 うち地元就職希望者 84人	124人 うち管内の求人数 76人

※平成23年10月31日現在

- お申し込み・お問い合わせ先
ハローワークうらかわ ☎0146・22・3036
ハローワークしずない ☎0146・42・1734

消防団員を募集しています

消防団は、市町村の消防機関の一つで、消防団員は普段は別の仕事を持っている非常勤特別職の地方公務員です。平成23年12月1日現在、町内で135人（うち女性消防団員16人）の消防団員が活躍しています。

消防団は、火災や災害発生時の消火活動だけではなく、平常時も地域のために色々な活動をしています。

消防団員には、年額報酬や災害活動又は訓練に出勤した時に出勤手当などが支給されます。

また、その他の主な待遇には、公務災害補償、退職報償金や被服の貸与、表彰制度があります。

消防団には、会社員、OLや自営業者、主婦など、様々な人が集まって地域の防災のために従事しています。あなたも是非、消防団に入団してみませんか？

詳しくは、新冠支署までお問い合わせください。



- お問い合わせ先
日高中部消防組合消防署新冠支署
☎0146・47・2666

HTLV-1 抗体検査の実施について

北海道静内保健所では、HTLV-1 抗体検査を実施しています。

検査を希望される方は、下記検査日の3日前までに、保健所へ電話で予約してください。

- 検査内容
血液検査 5mlの血液を採血し、HTLV-1 抗体があるかないかを調べるものです。
検査結果は、約1週間後にお知らせできますが、精密検査が必要となった場合は、その後約10日間かかります。

- 検査日

採 血 日
平成24年1月26日（木）午後1時～午後3時
平成24年2月23日（木）午後1時～午後3時
平成24年3月22日（木）午後1時～午後3時

～ HTLV-1とは～
HTLV-1は、日本名を「ヒトT細胞白血病ウイルス1型」というウイルスで、日本国内では、約108万人の方が持っていると言われています。

このウイルスを持つ方をHTLV-1キャリアと呼びますが、キャリアのうち、約5%の方が、将来、成人T細胞白血病（ATL）を、約0.3%の方がHTLV-1関連脊髄症（HAM）を発症すると推定されています。

このHTLV-1の感染経路は、主として母子感染（母乳感染）ですが、まれに、性感染や血液感染があるとされています。

- 検査の申し込み・お問い合わせ
静内保健所健康推進課 ☎0146・42・0251
※HTLV-1に関する相談やお問い合わせは、平日の午前9時から午後5時の間（但し午後0時～午後1時は除く）

「経済の国勢調査」です。
全国すべての企業・
すべての事業所が対象です。

平成24年 2月1日（水）

経済センサス 活動調査

調査票は平成24年1月末日までにお届けします。
2月1日以降に提出をお願いします。

経済センサス 検索

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>
総務省・経済産業省・都道府県・市区町村



問い合わせ先
社会教育課 図書プラザ
☎ 0146・45・7777

今月の一冊



『甲子園だけが高校野球ではない』
岩崎 夏海 監修
出版：廣済堂あかつき

親がリストラに遭い、野球が続けられるかわからない状態に。ユニフォームもボロボロで…。ガンと闘う球児のお母さん。息子からもらった手紙は…。高校野球の雑誌記者や編集者が取材で集めた21の実話を収録。

アニマル号 (移動図書館車) 運行日程《1月分》

13日	15:40～16:00 16:05～16:30	にこにこクラブ(児童館) 認定こども園ド・レ・ミ
24日	10:10～10:30 10:45～11:00	朝日小学校 新冠こたにがわ学園
26日	10:10～10:30 10:40～10:50	朝日小学校 朝日保育所
27日	10:10～10:30 11:00～11:20 15:05～15:35 15:40～16:00	美宇保育所 太陽郵便局 新冠小学校 にこにこクラブ(児童館)
31日	16:05～16:30 10:10～10:30 11:00～11:20	認定こども園ド・レ・ミ 朝日小学校 おうるの郷

●図書プラザイベントカレンダー

日時	事業名	場所
1月28日(土) 13:30～	びっくり箱の おはなし会	図書プラザ おはなしのへや

「冬のお楽しみ会」が開催されました

12月10日(土)レ・コード館シアターにおいて読み聞かせの会「びっくり箱」主催の冬のお楽しみ会が開催されました。

この会は、びっくり箱最大のイベントで、町内はもとより町外の子どもたちも楽しみにしており、今年も親子連れを中心にたくさんの参加がありました。

内容は、スクリーン絵本、ブラックパネルシアター、人形劇、手遊びなど、工夫を凝らした楽しい出し物がたくさんあり、子どもたちは歓声を上げて大喜びしていました。



「新着ガイド」

皇后美智子さま	渡辺 みどり
スマートフォン時代のインテリジェント旅行術	吉田 友和
なまら北海道	千石 涼太郎
恥さらし	稲葉 圭昭
池上彰のお金の学校	池上 彰
スティーブ・ジョブズ神の遺言	桑原 晃弥
組織を守り強くするNo. 2の指南書	宮内 勝彦
60歳のラブレター絆	NHK出版
全国専門・各種学校案内 12-13年度版	オクムラ書店
数学ガール	結城 浩
「うつ」は食べ物原因だった!	溝口 徹
好奇心ガール、いま97歳	笹本 恒子
君のために嵐がいる!!	ジャニーズ研究会
AKB48メンバー事典 2011	服部 翔太
独女日記	藤堂 志津子
てぶくろチンクタンク	きもと ももこ

図書プラザ休館のお知らせ

図書プラザは、コンピューターシステムの入替作業と年末年始のため、平成23年12月22日(木)～平成24年1月5日(木)まで休館とさせていただきます。(移動図書館車もお休みします)

なお、図書プラザ休館中の返却につきましては、レ・コード館入口にありますブックポストと図書プラザ入口に返却棚を用意致しますので、そちらをご利用ください。

皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

国民年金だより

20歳になったら国民年金

国民年金などの公的年金は、老後の生活を安心して送れるよう、社会全体で高齢者の生活を支え、ご自身が高齢者になったときには次の世代に支えてもらう、いわば仕送りのような仕組み(「社会的扶養」)が必要であるという考えのもとで形成されてきた制度です。すでに20歳になられた方や、これから20歳を迎えられる人も国民年金制度をよく理解し、きちんと国民年金保険料を納めましょう。

国民年金とは国が責任をもって運営する公的年金で、日本に住む20歳から60歳までの全ての人加入することになります

自営業者や学生などは国民年金第1号被保険者に、サラリーマンや公務員はそれぞれ厚生年金や共済年金に加入すると同時に国民年金第2号被保険者に、また第2号被保険者に扶養されている配偶者は国民年金第3号被保険者になります。国民年金などの公的年金は、やがて

訪れる長い老後の収入を約束してくれる唯一の年金制度で、終身にわたり支給されますので安心です。

また、老後の所得保障だけではなく、病気や怪我で障がいが残った場合には、障害基礎年金が支給され、亡くなられたときには残された家族に遺族基礎年金が支給されるなど、思いがけない人生の「万一」にもサポートしています。しかし、年金制度に加入しなかったり、保険料を納めないでいると、場合によっては年金を受給できないこととなります。

加入手続きは役場の窓口で

20歳の誕生日近くに日本年金機構から年金加入の申請用紙が送られてきますので、申請用紙と印鑑を持参のうえ、役場町民生活課で手続きを取るようしてください。

学生納付特例制度があります

学生で収入がないため保険料の納付が困難な場合は学生納付特例制度があります。この特例を受けると、保険料の納付期限を10年間まで延ばすことができますので、就職してから支払うことができます。また、この手続きは毎年4月に申請

環境衛生だより

するものですので、忘れずに申請してください。

廃棄物の不法投棄禁止と家電・パソコンのリサイクルへの協力のお願い

廃棄物の投棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により禁止されています。

当町における廃棄物の不法投棄等の違法行為は、依然として後を絶たない状況にあります。

通常、不法投棄などの違法行為の発覚は、職員によるパトロールや町民からの通報によるものが大半を占めている状況で、今後、益々増える不法投棄等の違法行為の未然防止や拡大防止のため多くの町民の方からの幅広い情報の提供をお願いします。

なお、自宅敷地内であってもごみの野焼きやごみの埋め立ても不法投棄となりますので、くれぐれもご注意ください。

また、使わなくなった家電製品には再び利用することができる部品など資源がたくさん含まれていることから、

資源の有効活用と、クリーンな環境のために、リサイクルは益々大切になっていきます。

しかし、リサイクルには収集や運搬、処理にお金がかかりますので、使った人も、売った人も、皆さんの協力し合うことが必要なのです。

リサイクル家電対象商品

テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・エアコン・パソコンなどです。
※廃物を不法に投棄した者は次のとおり処罰されることがあります。
5年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金または併科。

新冠共同墓地の公募について

町で管理しています新冠共同墓地について、現在空き区画があり、1年内にお墓を建立する方で、新冠町に住所を有する方に随時墓地使用許可の受付を行っています。

○新冠共同墓地(字西泊津)

11区画(6㎡) 使用料2万円

●問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ
☎ 0146・47・2112





1月 新冠町成人式に57人が出席し、新成人として新たな一歩を踏み出しました。



2月 年々販売額が伸び、ついに5億円を突破した新冠町の黒毛和種牛産業。



4月 管内初の公立認定こども園「ド・レ・ミ」が124人の園児とともに開園しました。



6月 将来地域農業の担い手として、自立・定住を目指している農業支援員の3名です。

2011 あんなこと

● 1月

- 1日 氷川神社境内で新年恒例の「隆盛みこし」が行われる
- 9日 新冠町教育賞・教育奨励賞表彰式が行われ、13名・3団体が表彰される
- 9日 新冠町成人式が行われ57人が出席し新成人の門出を祝う

● 2月

- 9日 駒澤弘義さんに北海道産業貢献賞が贈られる
- 10日 レ・コード館で新冠町少年国内研修交流事業報告会が開催される
- 14日 町より小泉イヨさんに長寿祝金が贈られる
- 16日 新冠町和牛生産改良組合の第30回通常総会において、黒毛和種の販売額が初めて5億円を突破したと報告される
- 20日 第28回フェブラリーステークスでトランセンド号が優勝を飾る
- 25日 新冠小学校と朝日小学校で昭和音楽大学のアウトリーチコンサートが行なわれる

● 3月

- 3日 新冠町4Hクラブに全国農村青少年教育振興会長賞が贈られる
- 14日 旧美宇小学校の売却が正式に決定される

● 4月

- 4日 新冠町立認定こども園ド・レ・ミが開園される
- 5日 新冠建設協会による市街地道路のボランティア清掃が行われる
- 17日 新冠町商工会青年部が温泉に約60匹の鯉のぼりを設置する
- 24日 統一地方選挙が行われ12名の新たな町議会議員が決まる

● 5月

- 28日 新冠町開町130年・町制施行50年記念事業「ファイターズ記念植樹&野球教室」が行われる
- 29日 比宇川流域環境保全会主催の田植え祭りで田植え体験が行われる

● 6月

- 1日 地域おこし協力隊（農業支援員）に採用された3名に対し委嘱状が交付される
- 20日 「にいかっぷピーマン」の共同選果が開始される
- 26日 新冠町開町130年・町制施行50年記念事業「町花つつじ町民植樹祭」が開催される
- 26日 第52回宝塚記念でアーネストリー号が優勝を飾る

2011 こんなこと

2011年広報「にいかっぷ」からこの1年を振り返ってみました。

● 7月

- 1日 役場窓口においてパスポートの交付申請の受付が始まる
- 2日 第13回中山グランドジャンプでマイネルネオス号が優勝を飾る
- 3日 オグリキャップ号の一周忌法要と等身大馬像の除幕式が行われる
- 9日 愛隣チャペルキリスト教会が交流施設の開所を記念した礼拝式を行う
- 26日 町より大福酒蔵さんに長寿祝金が贈られる

● 8月

- 1日 新冠町自治会長等永年勤続表彰式が行われ6名の方が表彰される
- 9日 東日本大震災被災者受け入れツアーが行われる
- 13日 新冠の夏の風物詩「にいかっぷふるさと盆踊り2011」において「新冠音頭」が踊られる

● 9月

- 1日 新冠町開町130年・町制施行50年記念式典が行われる
- 22日 昭和音楽大学オーケストラコンサートが行われる
- 25日 レ・コード館で童謡・唱歌をうたうつどい「第11回全道唱歌大会」が行われる
- 30日 新冠町開町130年・町制施行50年記念事業「ふるさと自慢うた自慢ラジオ公開収録」が行われる

● 10月

- 8日 新冠町開町130年・町制施行50年記念事業「知里幸恵の生涯 神々の謡」の公演が行われる
- 13日 新冠町商工会青年部に北海道知事感謝状が贈られる
- 28日 柏木勲さんと眞野康彦さんに北海道社会貢献賞が贈られる

● 11月

- 1日 新冠町子ども発達支援センター「あおぞら」が開所される
- 1日 高齢者等会員制宅配サービス「らくらく・にいかっぷ」が始動する
- 1日 新冠町開町130年・町制施行50年記念事業で作製した「新冠町鳥瞰図」の無料贈呈が始まる
- 3日 平成23年度新冠町功労賞・善行賞贈呈式で7名の方々が表彰される

● 12月

- 4日 第12回ジャパンカップダートでトランセンド号が優勝を飾る
- 5日 食肉センター建設に関する協定書調印式が行われる



7月 伝説の名馬オグリキャップ号の雄姿を再び見ることができるようになりました。



8月 近年あまり踊られなくなっていた「新冠音頭」が復活しました。



9月 先人の苦勞と偉業に感謝し、さらに飛躍する町にすることを誓いました。



12月 新冠町出身の藤田騎手を鞍上に、見事2年連続優勝を飾ったトランセンド号。

キラリと光る レ・コードなまち

○団体・サークル紹介○

今月号は、道内で幅広く活躍するストリートダンスサークル「SOUL WAVE (ソールウェーブ)」を紹介します。

【プロフィール】

平成12年から、ジャズダンスサークル「ジャズダンスレボリューション」として活動していましたが、代表が変わり3年前から「SOUL WAVE」となり、ダンスもジャズダンスからストリートダンス主体の活動へと変りました。

ストリートダンスという独特の文化によって、活発性・協調性・ポジティブマインドを養い、人としての基本作法「あいさつ・礼儀・恩義」などを指導し、魅力ある人間を形成することを目的としています。

「SOUL WAVE」はライブ感溢れる生のストリートダンスを楽しみながら学べる場所として開設しました。札幌のスタジオを中心に日高管内で幅広く活動しています。このスタジオは子どもから大人まで楽しく健やかにダンスができるようにレッスンを組まれています。

日高管内での活動は、各町の公共施設でダンスを勉強し合いながら、管内のお祭りや文化祭、イベントなどに出演しダンスを披露しています。

今年の11月20日(日)にし・コード館で行われた「ニイカップダンスフェスティバル」では、たくさんのお客を動員し、4歳児から中・高生までのパ



フォーマーによるパワフルなダンスで会場を盛り上げました。

【活動内容】

通常練習: 第1・3水曜日、第3土曜日
(午後4時～午後5時30分)

練習場所: 日高管内各町の公共施設

【パフォーマー募集】

ストリートダンスに興味のある方、4歳から何歳まででもOKです!

みんなで楽しく踊りましょう!

※詳しくは「SOUL WAVE dance studio (ソールウェーブダンススタジオ)」(担当: 今井)まで問い合わせください。

☎ 011・219・3857 e-mail: soul@shirt.ocn.ne.jp

小竹町長の動静 & まちのできごと

11月 ●は町長出席

- 1日、買物支援事業出発式、子ども発達支援センター開所式
- 3日、新冠町功労賞・善行賞贈呈式
- 4日、まちづくりヒアリング(～11日)
- 6日、ほくと園ふれあいフェスタ2011
- 9日、日高管内町長会議(新ひだか町)、日高軽種馬農協創立50周年を祝う会(新ひだか町)
- 11日、新冠ヒルズ取締役会、庁内会議
- 14日、決算審査特別委員会
- 16日、北海道国保診療施設開設者協議会役員会議(札幌市)
- 18日、馬産地再活性化緊急対策事業に係るJA北海道中央会との意見交換会(札幌市)、農業サミット
- 21日、決算審査特別委員会総括質疑、
- 22日、日高軽種馬共同育成公社取締役会、浦河ひまわり基金法律事務所開所式(浦河町)
- 27日、第19回日高中・東部柔道大会
- 28日、民主党陳情要求(東京都)
- 30日、全国町村長大会(東京都)

人の
うごき
(平成23年11月末現在)

人口	5,829人	(前月比)	- 3人
男	2,809人	(前月比)	- 3人
女	3,020人	(前月比)	± 0人
世帯	2,659世帯	(前月比)	+ 4世帯
外国人登録者	49人		

